



法人（事業所）理念		『遊びながら学び、楽しく育つ』 楽しく遊びながら学びと気づきを提供し、今よりも成長していける環境を目指します。	
支援方針		体を動かしながら、遊び(プログラム)を通じてコミュニケーション能力の向上や達成する喜び、継続する力を育みます。個々の特性を考慮しながら、日常の様々な状況に療育を落とし込み、今後の生活の中で活かせるスキルを身につけられるよう支援します。「また行きたいな」「次のメリーさんはいつかな」と思ってもらえるようサービスを提供します。	
サービス提供時間		10 時 ～ 17 時	送迎実施の有無 (あり) なし ※可能範囲内に限る
支 援 内 容			
本人支援	運動・感覚	【微細運動】 ・道具を使った日常の手先の動きの訓練(つまむ、すくう、ひねる、上下など) ・工作による用具の操作訓練(ハサミ、糊、テープ、パン類など) ・ビジョントレーニング(視覚機能を高め、心身の機能向上・安定を促す)	【粗大運動】 ・サーキットトレーニング(跳ぶ、しゃがむ、転がる、走るなど複合した動きを取り入れる) ・体幹トレーニング(バランスボールや平均台を使い体幹を鍛える) ・ボール遊び(投げる・捕る・蹴る)や鉄棒、マット運動、縄跳びなど、就学後の体育の授業を見据えた運動を行う。
	健康・生活	・健康状態の維持(こまめな検温やボディチェック※) ・生活習慣や生活リズムの形成。 ・基本的な生活スキルの習得(手洗いや着替え等の身辺自立)。 ・防災学習(避難訓練だけでなく、日ごろから防災に対する意識を高める学習を行う) ※手や脚など見えている範囲	認知・行動 ・スケジュールによる課題(宿題や月間目標)達成。 ・タオル吊り、連絡帳の提出など利用開始の一連の作業をルーティン化する。 ・プログラムの切り替えのタイミングで片付け、給水、トイレなどを行う。 ・模写・模倣、迷路など
	言語コミュニケーション	・その場、状況に応じた挨拶を行う。 ・SST(自分の気持ちを相手に伝える、相手の気持ちを考えるなど) ・絵本の読み聞かせ、言葉カード(視覚・聴覚からのアプローチ) ・本人の気持ちの代弁、遊びの中での言語化。	人間関係社会性 ・ルール遊びの中で、勝敗の受け入れやルールを守ることの大切さを学ぶ。 ・プログラム内でのグループミッション達成に向けて、相談・思考・協力する力を養う。 ・ルールを決める、順番を守る、誘う抜けるなど遊びを通じて社会性を身に付ける。
全体支援	家族支援	・必要に応じて保護者との面談を行う。 ・送迎時や連絡帳にて利用時の様子などを伝える。 ・保護者と参加できるイベントを企画。	移行支援 ・学校、併用している事業所等と情報共有及び支援内容の確認を行う。
	地域支援・地域連携	・関係機関各所との連携。 ・学校等の行事への参加。 ・地域の学生とのふれあい、ボランティアの受け入れ。	職員の質の向上 ・施設内外の研修への参加。 ・各種資格取得のサポート。 ・定期的にカンファレンスを行い、フィードバックを行う。
主な行事等		・季節ごとの行事(鏡開き、節分、花見、プール遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会など) ・うどん打ち体験 ・夏祭りイベント ・外出イベント	